

20 特別勘定に関する指標等

【1】特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区分	平成25年度末		平成26年度末	
	金額		金額	
個人変額保険	281		314	
個人変額年金保険	-		-	
団体年金保険	-		-	
特別勘定計	281		314	

【2】個人変額保険（特別勘定）の状況

①保有契約高

(単位：件、百万円)

区分	平成25年度末		平成26年度末	
	件数	金額	件数	金額
変額保険（有期型）	-	-	-	-
変額保険（終身型）	479	1,436	477	1,433
合計	479	1,436	477	1,433

②個人変額保険特別勘定資産の運用の経過

<運用環境>

- ・国内債券市場：国内長期金利は日銀の量的・質的金融緩和政策継続や欧米金利の低下を受けて低下基調で推移しました。1月には10年新発国債利回りが一時0.195%と過去最低を更新しましたが、その後、株価の上昇に伴い金利もやや上昇しました。
- ・国内株式市場：TOPIXは企業業績の改善や円安の進展、堅調な米国株式市場などを背景に上昇しました。10月末の日銀の追加金融緩和決定も相場上昇要因となりました。
- ・海外債券市場：米国での量的金融緩和政策は終了したものの、ECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和政策の決定による欧州金利の低下などにより、米国10年金利は低下基調で推移しました。
- ・海外株式市場：S&P500はFRB（連邦準備制度理事会）による早期利上げ観測や地政学リスクの高まりなどから下落する場面もありましたが、予想を上回る経済指標などによる米国景気回復期待から上昇基調で推移しました。
- ・為替市場：日米金融政策の方向性の違いから金利先高感のあるドルへの需要が強まり、円は対ドルで下落し円安となりました。対ユーロではECBの追加金融緩和などを受け、円高となりました。

<運用結果>

- ・年度の運用利回りは14.73%となりました。国内債券（2.83%）、国内株式（23.37%）、外国債券（12.55%）、外国株式（24.19%）ともプラス利回りとなりました。

[3] 年度末個人変額保険特別勘定資産の内訳

(単位：百万円、%)

区分	平成25年度末		平成26年度末	
	金額	構成比	金額	構成比
現預金・コールローン	7	2.5	8	2.8
有価証券	270	96.2	301	96.1
公社債	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
外国証券	—	—	—	—
公社債	—	—	—	—
株式等	—	—	—	—
その他の証券	270	96.2	301	96.1
貸付金	—	—	—	—
その他	3	1.3	3	1.1
貸倒引当金	—	—	—	—
合計	281	100.0	314	100.0

[4] 個人変額保険特別勘定の運用収支状況

(単位：百万円)

区分	平成25年度	平成26年度
	金額	金額
利息配当金等収入	8	8
有価証券売却益	—	—
有価証券償還益	—	—
有価証券評価益	61	93
為替差益	0	—
金融派生商品収益	—	—
その他の収益	0	—
有価証券売却損	—	—
有価証券償還損	—	—
有価証券評価損	35	61
為替差損	0	0
金融派生商品費用	—	—
その他の費用	—	0
収支差額	35	40

[5] 個人変額保険特別勘定に関する有価証券等の時価情報

① 売買目的有価証券の評価損益

(単位：百万円)

区分	平成25年度末		平成26年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
売買目的有価証券	270	26	301	32

② 金銭の信託の時価情報

当社は、平成25年度末、平成26年度末とも残高はありません。

③ 個人変額保険特別勘定のデリバティブ取引の時価情報

当社は、平成25年度末、平成26年度末とも残高はありません。

[6] 個人変額年金保険（特別勘定）の状況

当社は、平成25年度末、平成26年度末とも残高はありません。